別表　　一部事務組合下北医療センター　むつ総合病院　実習プログラム

　むつ総合病院は、青森県下北半島のほぼ中心部に位置しており、下北医療圏における唯一の中核病院で、二次救急病院としての役割を担っております。しかし、県内の主要都市から遠隔にあるため実際には一次から三次救急まで幅広い医療を行っており、高次病院ではなかなか経験できないような症例を多数経験できますので実習には最適な状況にあるといってよいでしょう。

　また、指導医はじめコメディカルスタッフも実習受け入れに対し、大変前向きで積極的ですので、第一線病院での日常を通して、きっと実り多い有意義な実習ができるものと思います。

○実習内容

・外来診療の見学・予診
・病棟における参加型実習
・訪問診療の実際
・他施設との連携を学ぶ
・診療カンファレンス、スタッフミーティング、症例検討会などへの参加
・地域交流
・医師会活動との連携を知る

○行動目標

・地域に特徴的な疾患を理解する
・外来患者・入院患者を通してへき地における医療環境を学ぶ
・訪問診療を通して患者の生活環境や健康を考える
・へき地における患者・家族を中心に医師・看護師をはじめとする医療従事者とのコミュニケーションのとり方を学ぶ

○プログラム

	午　　前	午　　後
月	待合室実習、外来診療	入院医療 病棟回診・カンファレンス
火	地域診療所での診療	訪問看護
水	外来診療	入院医療 症例検討会
木	地域診療所での診療	訪問診療
金	外来診療	入院医療・症例検討会 スタッフミーティング

・へき地医療拠点病院としての役割とその実態及びへき地医療の生きた現場を体験することを主眼とした実習であるため、その主旨に添うよう状況により一部変更することがある。

別表　　三戸町国民健康保険三戸中央病院　実習プログラム

　三戸地域の中心的医療機関として地域医療に取り組んでいる。中でも、へき地医療拠点病院として巡回診療、在宅ケア（診察・看護・リハ）の実施、病・病連携として、青森労災病院との遠隔医療システムのネットワーク構築等を行っている。

【臨床知識】
○一般目標
　・内科学の基本を理解し、一般的内科疾患について学ぶ。
○到達目標
　・代表的内科疾患についての実践的知識を理解する。
　・地域医療についての基本的知識を理解する。
【臨床手技】
○一般目標
　・初期診療において病歴聴取、診察とプレゼンテーションができる。
　・適切な患者接遇ができる。
○到達目標
　・臨床検査成績の基本的解釈ができる。
　・画像診断の基本解釈ができる。
　・代表的内科疾患の治療方針を策定できる。

○カリキュラム

	月	火	水	木	金
午前	病棟実習 外来診療 内視鏡・US 訪問看護	同左	同左	同左	同左
午後	訪問診療 病棟実習	総回診	大腸内視鏡 病棟実習	田子診療所 病棟実習	巡回診療 病棟実習
	X 線写真検討会・ＰＯＣ				

住所・連絡先
　〒 039-0141 青森県三戸郡三戸町大字川守田字沖中９－１
　電話　０１７９－２０－１１３１　ホームページ　http://www.sannohe-hp.jp/

交通手段
　青い森鉄道　三戸駅下車（三戸駅より徒歩でも７～８分）
　南部バス　　青い森鉄道三戸駅前停留所から 三戸・田子方面行き 三戸中央病院下車

別表

公立野辺地病院　実習プログラム

★外　　科

【臨床知識】

○一般目標

・外科学の基本を理解し、手術適応や創傷治症等について学ぶ。また、救急医療の基本を学ぶ。

○到達目標

・消化器、甲状腺、乳腺の外科疾患、救急医療についての基本的知識を理解する。

・それぞれの代表的な疾患についての治療法を理解する。

【臨床手技】

○一般目標

・初期診療で病歴聴取、診療及びプレゼンテーションを行うことができる。

・術前、術後の患者管理ができる。

○到達目標

・適切な患者接遇ができる。（インフォームドコンセントを含む。）

・コメディカルスタッフとの適切なコミュニケーション能力を身につけることができる。

・画像診断を参照しながら視診、打診、触診、聴診による術前診断や術後患者管理ができる。

・臨床検査の基本的解釈ができる。

・救急救命処置ができる。

・代表的外科疾患の基本的治療計画を策定することができる。

【週間予定】

	月	火	水	木	金
午　前	病棟回診 ＨＤ回診 療養病棟回診	写真見せ 病棟回診	ＰＯＣ 病棟回診 ＨＤ回診	病棟回診 ＨＤ回診	病棟回診 ＨＤ回診 療養病棟回診
午　後	手術 or 麻酔	手術 or 麻酔	手術 or 麻酔	手術 or 麻酔	手術 or 麻酔
夕　方	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診

※希望するなら火曜日、水曜日の午前外来診療可

※症例があればＰＴＥＧ、アンギオ、ＰＴＡ等も随時施行

※術後のＸ線検査は、病棟回診前に施行

【集合時間及び時間】

月曜日は、ＡＭ８：３０まで医局に集合

火曜日～金曜日は、ＡＭ８：１５まで医局に集合

別表

公立野辺地病院　実習プログラム

★内　　科

【臨床知識】

○一般的目標

・内科学の基本を理解し基本的な症候・検査・治療法を学ぶ。

○到達目標

・消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患についての基本的知識を理解する。

・それぞれの代表的な疾患についての治療法を理解する。

【臨床手技】

○一般的目標

・初期診療で病歴聴取、診療及びプレゼンテーションを行うことができる。

・消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患についての基本的な検査を行うことができる。

○到達目標

・適切な患者接遇ができる。（インフォームドコンセントを含む。）

・コメディカルスタッフとの適切なコミュニケーション能力を身につけることができる。

・消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患の視診、打診、触診、聴診ができる。

・消化管レントゲン写真、内視鏡写真について基本的な読影ができる。

・血液生化学検査および尿検査の基本的解釈ができる。

・代表的疾患の基本的治療計画を策定することができる。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金
午 前	検査見学 (内視鏡・透視 超音波)	外来見学 (問診・診察・診断の実習)	検査見学 (内視鏡・透視 超音波)	外来見学 (問診・診察・診断の実習)	検査見学 (内視鏡・透視 超音波)
午 後	内科病棟回診 検査見学	内科病棟回診 検査見学	内科病棟回診 検査見学	へき地診療 内科病棟回診	内科病棟回診 検査見学
16 時～	外来写真見せ	外来写真見せ	外来写真見せ	内視鏡フィルム検討	外来写真見せ

適宜、週に１回ほど、療養病棟見学あり

【集合場所及び時間】

毎日ＡＭ８：３０までに、医局に集合

水曜日は、ＡＭ８：１５～医局でＰＯＣ(術後カンファレンス)があります。

別表　　一部事務組合下北医療センター 大間病院　実習プログラム

当院は、下北北通り３ヵ町村（大間町、風間浦村、佐井村）唯一の病院施設です。その地理的条件などから、大学、中核病院では見ることの出来ない、以下の事項について研修できます。

【外　来】

基本的に総合外来形式で、臓器別の専門領域のみにとらわれない、その患者の身体的、心理的、社会的な問題全てに対応が要求される、全人的なアプローチを経験できます。疾患はいわゆる「Common Disease」（高血圧症、糖尿病、脂質異常症、変形性関節症等）の診断、治療を経験できます。

【救急、病棟】

当院には北通りの全ての救急患者がひとまず搬送されます。そのため、一次救急疾患（脳梗塞、肺炎・腎盂腎炎等の急性感染症、慢性呼吸不全の急性増悪など）の初期対応と入院管理が経験できます。また重症の二次～三次救急疾患（急性心筋梗塞、重篤な脳疾患、多発外傷など）の初期対応～搬送対応が経験できます（ACLS、PTLS）。

【訪問診察、訪問看護】

外来とまた異なり、疾患自体より本人の生活、生きがいを重視したケアが求められます。また本人のみならず、家族や介護者など、患者をサポートする人々へのケアも経験できます。訪問診察、訪問看護と異なる立場で訪問してもらい、求められる役割の違いや在宅チーム活動の重要さを実感できます。

【介護施設】

介護スタッフ研修、訪問診察研修と異なる立場で研修していただき、いろいろな視点で施設入所者の問題点や施設ケアチーム活動について考察できます。

【レビュー・勉強会】

その日経験した症例や印象に残った事例をもとに、様々なテーマでレビュー・勉強会（双方向形式）を行います（テーマは学習者のニーズに応じて調整します）。

○実習目標

地域住民の病院に対するニーズを理解する
へき地医療拠点病院である大間病院の役割を理解する
実際の診療実習を通して患者さんとのコミュニケーション技法を学ぶ
救急治療について学ぶ

○カリキュラム例

	午　　前	午　　後	夕　　方
月	待合実習	巡回診療	写真検討会・フィードバック
火	外来実習	病棟診療	写真検討会・フィードバック
水	検査実習	手術	写真検討会・フィードバック
木	外来実習	福浦診療所実習	写真検討会・フィードバック
金	外来実習	まとめ	写真検討会・フィードバック

※上記のほか、救急、外来手術、緊急手技等が入った時は随時参加する。

別表

国保おいらせ病院　実習プログラム

実習を通じて、医師を目指すものとしてかけがえのない何かをつかんで行くことができると思います。将来、地域医療を目指す人も、専門医を目指す人も是非とも体験していただきたい実習です。大学病院や総合病院より生活の場に近い「地域」の中に身を置くことで大切ななんかが見えてくると思います。待っているだけでは見えてきません。積極的に地域の中に飛び込んでいく、自分の靴をすり減らして努力することがお互いに求められます。

従来の医学教育の手法と異なった方法で、実習プログラムを作り上げてきました。従来の教わる・教えるといった関係から、一緒に学ぼうという姿勢で取り組みましょう。

地域の中にこそ教育の原動力があり、先生役が大勢いらっしゃいます。この方々の力を借りない手はありません。専門職だけでなく患者さん、家族や住民の皆さん全員で作り上げていく、そんな地域医療実習にしたいと考えております。

○ 一般目標

- 地域保健・医療の経験を通して、家庭・地域の文脈の中で提供される医療・医師の役割を理解する。
- 地域医療の実践に必要な知識・技能・態度を理解し、問題解決方法を身につける。
- 医療・保健・福祉の連携チームとしての地域アプローチの重要性を理解する。
- 日常診療の中で人とのかかわり合いを重視する態度と技能を学ぶ。

○ カリキュラム

	月	火	水	木	金
午　前	医局会 外来・検査 ＤＭ教室	病棟 外来・検査	病棟レビュー 外来・検査	病棟 外来・検査	病棟 外来・検査 訪診
午　後	病棟 外来・訪診・ 病棟･カンファ 外来レビュー	病棟 外来レビュー	病棟 手術 カンファ	病棟 外来・訪診・ 病棟 外来レビュー	病棟 外来･総回診 外来レビュー

別表　　南部町国民健康保険名川病院　実習プログラム

【病院の概要】

亜急性期や急性期の一部、およびターミナルケア等を担う一般病床 26 床と医療型療養病床 40 床の病院です。訪問診察や訪問看護、訪問リハビリの在宅医療及び介護に力を入れています。また、特定健診や予防接種、乳幼児学童健診などの保健活動も併せて行っています。

1 日の平均入院患者数は 64 人、外来患者数は 177 人、特定健診と訪問診療については、1 日平均 15 人程度を行っています。

【一般目標)】

地域住民の医療・保健・福祉のニーズに応えるために、地域包括ケアシステムを理解し参画する。

【個別行動目標】

A）保健事業（特定健診・予防接種）

1．特定健診の必須項目を説明できる。
2．医療面接を行い、身体所見をとることができる。
3．ADL を正しく評価できる。
4．健診データを評価し、階層化できる。
5．各種予防接種の種類・時期・対象について説明できる。
6．予防接種を指導医の管理下に実施することができる。
7．健康教室に参加する。

B）介護保険

8．介護サービスメニューについて述べることができる。
9．介護保険主治医意見書作成のための問題リストを作成できる。

C）地域医療

10．在宅医療に実際に参加する。
11．コメディカル、介護保険従事者、行政、患者及び家族と情報を共有し、良好な人間関係を構築する。

【研修スケジュール】

原則として研修医・指導医とともに行動する。

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr>
<tr><td>8:00〜8:30</td><td colspan="6">病棟ケースカンファランス</td></tr>
<tr><td>8:30〜9:30</td><td colspan="4">特定健診　従業者健診</td><td colspan="2" rowspan="3">訪問診察
外来実習
予防接種</td></tr>
<tr><td>9:30 〜 10:30</td><td colspan="4">超音波検査　上部消化管内視鏡検査</td></tr>
<tr><td>10:30 〜 12:00</td><td colspan="4">健診結果　読影・判定</td></tr>
<tr><td>13:00〜 14:00</td><td colspan="3">予防接種　随時の乳幼児学童健診
下部消化管内視鏡検査</td><td rowspan="3">午後休診</td><td>同左</td><td rowspan="3">午後休診</td></tr>
<tr><td>14:00〜 16:00</td><td colspan="3">訪問診察</td><td>同左</td></tr>
<tr><td>16:00〜 17:00</td><td colspan="3">振り返り</td><td>同左</td></tr>
</table>

別表　　国保平内中央病院　実習プログラム

病床数 96 床（一般病床 64 床、療養病床 32 床）で、平内町の医療センターとして、関連施設と連携をとりながら、町民のニーズに応えております。

一般診療では、常に最新の医学を見すえて診療、治療の向上をはかっていますが、慢性期医療として療養型病床の運営にも努めています。

美しい自然に囲まれた病院です。熱意と誠意のある実習生諸君の来院を歓迎します。

【診療知識】

大学病院や大学院とは異なった中小町立病院として現場医療を体験、実習できる。

・経験した疾患（症例）については、担当医師の指導に加え、文献に目を通して理解を明確にする。
・地域住民に信頼される医療であり、病院であることを認識する。
・医療事故または過誤防止の必要性、重要性を理解して、安全な医療について学ぶ。
・「医師としての資質に欠ける」という表現があるが、この実習において、質の良い信頼される医師養成の一端を担えればと願っている。

【臨床手技】

・インフォームドコンセントを含め、適切な誠意のある患者接遇を行う。
・医科、外科、小児科をローテートするが、各科で日常みられる代表疾患について、基本的な診断（検査）および治療計画を策定することができる。
・内科では内視鏡検査および内視鏡を用いた治療を実習する。
・外科では、手術（消化器、一般外科）に参加し、麻酔、手術手技および術前術後管理を実習する。
・小児科では、小児の診断、治療の特殊性を学ぶ。
・療養型病棟の状況を研修する（リハビリテーションについても）。
・在宅訪問診療に参加し、高齢者医療の実態を体験する。

○カリキュラム

		月	火	水	木	金
内 科	午 前	外来　検査	外来　検査	外来　検査	外来　検査	外来　検査
	午 後	訪問診療　回診	外来　回診	外来　回診　POC	外来　回診	外来　回診
外 科	午 前	外来　回診	外来　回診	外来　回診	外来　回診	外来　回診
	午 後	局麻手術　検査		訪問診療	局麻手術	全麻手術　検査
小児科	午 前	回診　外来	回診　外来	回診　外来	回診　外来	回診　外来
	午 後	外来	外来	外来	外来	外来

別表　　町立大鰐病院　実習プログラム

当院の概要及び当院が提供している医療

当院は一般病棟 120 床(実質 60 床で稼動)の町立病院で、救急告示病院である。現在の常勤医は外科 2 名、内科 2 名で、初期診療における総合診療的な対応を中心に、専門医療も提供している。特に消化器系疾患については最新の腹腔鏡下手術を含む週１～2 回の外科手術、内科にあっては、超音波診断や内視鏡による検査・治療、外来化学療法など最新の抗がん治療も提供している。

常勤医のほかに外科、内科は非常勤医師の支援を受けており、更に小児科（週２回）、眼科（週２回）、耳鼻咽喉科（週１回）、特殊外来３（週一回）（心臓循環器、リウマチ・膠原病、乳腺・甲状腺）についても専門医の診療を提供している。

地域医療連携パスにおける役割

地域医療連携パスにおいては、当院で提供可能な専門医療を担うと共に圏域の中心的病院（弘前大学附属病院、弘前市立病院、黒石市立病院、国立弘前病院など）と連携して、疾患に関わらず亜急性期及び回復期を担うことも期待されている。大鰐町の医療行政の中核施設として、予防、保健、緩和ケア、リハビリ機能の充実が今後の課題となっている。

○　実習内容

※　病院及び診療所における外来診療の見学・予診
※　病棟における参加型実習
※　へき地診療所及び訪問診療の実習
※　他施設との地域医療連携の実習
※　診療カンファランス、スタッフミーティング、症例検討会等への参加

○　実習目標

※　適切な患者接遇を学び、初期診療における患者の病状及び病歴聴取ができる
※　臨床検査及び画像診断の基本的解釈を学び、代表的疾患の治療方針を策定する
※　地域に特徴的な疾患を理解し、地域医療の実際(住民意識、環境、課題)を学ぶ
※　患者(およびその家族)とのコミュニカーションの取り方を学ぶ
※　他施設との地域医療連携やスタッフ同士とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。

○　実習カリキュラム

	午　　前	午　　後	
月	待合室実習、外来診療	病棟回診　カンファランス	Ｘ線写真検討
火	内視鏡及び超音波検査	訪問診療	
水	外来診療	手術又は病棟回診、カンファランス	
木	早瀬野診療所での診療	手術又は病棟回診　カンファランス	
金	外来診療	病棟回診　カンファランス	

※　早瀬野診療所での診療は毎週ではありません。
※　手術日(概ね水、木の午後）には希望により手術の見学もできます。
※　研修の主旨に沿って、状況により内容の一部を変更することがあります。

黒石市国民健康保険黒石病院　実習プログラム

○　プログラムの概要

・選択診療科（内科、外科、小児科、整形外科のいずれか）での診療に加えて訪問看護・訪問診療・福祉施設などについて研修するスケジュールとしている。

○　基本スケジュール

・選択診療科実習（内科、外科、小児科、整形外科のいずれか）
・地域医療支援センター実習

○　一般目標

地域中核病院の選択診療科における診療を理解する。

・在宅医を持ち、住み慣れた地域で暮らし続けたいと考えている患者及びその家族を支援するための制度および介護保険制度における医療機関の役割を理解する。

○　行動目標

・地域中核病院として、common disease、予防医学も含めて一般診療に対応できる。
・地域保健・医療・福祉施設などの機関と連携を図り、在宅患者及び家族のニーズに対応できる。

＜地域保健＞

・地域での各機関との連携、調整について理解し協力できる。
・介護保険、老人保健施設等の役割・現状・問題点を理解する。
・各施設での関係者やスタッフと良好な関係を保ち、学ぶ姿勢を身につける。

＜地域医療＞

・在宅医療の役割を理解する。
・病診連携の役割を理解する。
・患者のバックグラウンドを理解する。
・家族とのコミュニケーションの重要性を理解する。

○　カリキュラム

	午　　前	午　　後
月	選択診療科における研修	選択診療科における研修
火	選択診療科における研修	選択診療科における研修
水	訪問看護同行（地域医療支援センター）	訪問診療同行（訪問診療担当医）
木	介護老人保健施設実習（市内施設）	選択診療科における研修
金	選択診療科における研修	選択診療科における研修

別表　　深浦町国民健康保険関診療所　実習プログラム

当診療所は、青森県の日本海側に位置するへき地診療所です。高度医療・専門病院まで遠隔地であることから、在宅医療を必要とする患者も多く、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を習得するために効果的な実体験が可能です。

診療所は内科を中心に１日７０人前後の患者さんがあり、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の疾患の診療を経験できるとともに、創傷処理をはじめ中心静脈用カテーテル挿入、気管切開などの外科的手術も随時行われます。

また、原則的に夜間・休日の救急患者にも対応するとともに、山間無医地区への巡回診療や在宅診療、訪問看護の同行なども定期的に行われます。

小規模な診療所ですが、人間ドックも実施しており、内視鏡、超音波検査を始めほとんどの検査機器を備えており、実習期間中に検査手技の理解が高められます。

外来実習を通じて、実践的な診療の理解とともに患者とのコミュニケーション方法、医師とコメディカルスタッフからなるチーム医療のあり方を学んでいただきたい。

このほか、診療所には、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、保健活動部門が入っている「地域包括ケアセンター」を併設しており、地域包括医療（ケア）を実習することも可能です。

最後に当診療所での実習は、体験が主体であり、指導医とのマンツーマンで総合診療在宅医療の現場を実体験することになります。

【指導医】　所長　　柳　善佑　（外科学会認定医）

○カリキュラム

	午　　前　8:15～12:00	午　　後　13:00～17:00
月	外来実習 （患者の診察、処置、継続薬の処方、点滴、静注、消毒、内視鏡検査、超音波検査、レントゲン検査等随時）	特養老人ホーム訪問診療
火	外来実習	外来実習
水	外来実習	在宅患者訪問診療
木	外来実習	山間無医地区訪問診療（第2・第4木曜日） 在宅患者訪問診療
金	外来実習	各種予防接種（学校・保育園各種検診）（ドック事後指導）（訪問看護同行実習） 在宅ケアカンファレンス（隔週）

※学生は指導医と患者の診療に当る。
※担当症例により検査・処置・手術は随時見学可能である。
※各種検診、ドック事後指導は時期により変更がある。
※原則的に夜間・休日等の救急患者にも対応する。

別表　　一部事務組合下北医療センター 東通村診療所　実習プログラム

当診療所は、有床（１９床）の診療所で、併設する保健福祉センター、介護老人保健施設とともに保健医療福祉の包括ケアを実践しています。

診療所では、プライマリケアの５原則（近接性、包括性、継続性、協調性、責任性）を常に意識しながら、日常診療（外来、病棟、訪問診療、産業医活動）を行っており、医学生や研修医の研修のために様々なコンテンツを豊富に用意しています。

また、一日の実習の後には振り返りの時間を設けて、形成的な評価を行っています。

○実習内容

外来は総合外来で、Common Disease はもちろん、小児から高齢者まで幅広い症例を診ることができます。さらに、外傷や皮膚疾患も多く、処置の基本を経験できます。

外来面接や処置を通して、近接性や包括性の重要性を体験できますし、近接性を実感していただくためにホームステイもコンテンツとして用意しています。

また、病棟や訪問診療、通所サービス（デイサービス、デイケア）、さらには介護老人保健施設での実習では、継続性や他職種との協調性、責任性を実感できると思います。

○カリキュラム

＼	午　　前	午　　後
月	病棟回診、全体ミーティング、外来ミーティング、施設案内、プレアンケート、外来実習、老健回診	外来実習､外来レビュー､１日の振り返り
火	病棟回診､外来ミーティング､外来実習、老健回診	病棟カンファレンス、外来実習、老健入所判定会議、外来レビュー、１日の振り返り
水	病棟回診､外来ミーティング､外来実習、老健回診	包括ケアカンファレンス､外来レビュー、１日の振り返り、地元小学生との交流、村内ホームステイ
木	デイケア実習	デイケア実習、外来レビュー、１日の振り返り
金	病棟回診、外来ミーティング、外来・病棟実習、老健回診	老健ミーティング、訪問診療、外来レビュー、１日の振り返り
土	病棟回診､外来ミーティング､外来実習、老健回診	外来レビュー、１日の振り返り、１週間の振り返り

別表　　田子町国民健康保険町立田子診療所　実習プログラム

医療に期待されるものは病気の発見、治療、維持、予防といったものであるが、発見、治療については大学や大学院での研修で行われている。地域の臨床研修では慢性期治療の中心となる維持、予防が主な研修目的である。患者さん個人にとって最終目的はその人にあった生活環境が維持できることであって、病院だけでは対処し得ない様々な事例に対し社会資源を利用して生活の維持ができるよう努力して行くことが求められる（病気はその人にとって重大なことであるが生活のごく一部であることを念頭においておかなければならない）。その家族、行政、近隣施設、保健福祉サービスなどとの関わり合いが大切になる。また、地域において医師はリーダーとして振舞うことを期待されている。その際、医学的知識と共にコミュニケーション能力と判断力が求められることが多い。

地域の診療所は医療を行う場というだけでなく地域の公共施設として様々な役割を持っている。企業、職員の健康管理や感染対策、住民健診、住民教育、学校保健或いは地域経済の一翼をも担っている。そのため様々な影響を社会に与えるものであることを考慮しなければなせない。行政との関わり、地域社会との関わりが常に存在していることを理解して行動する必要がある。行政や公共団体、民間団体、近隣施設や学校との医療機関との関係などを理解しておくことが必要である。

医療を取り巻く環境は大きく変化してきており治療だけをしていれば事足りる時代とは異なっている。ことに地域において生じる問題はその人の生活環境や社会状況、経済状況と深く関わっていることが多いためそれを無視して治療を行うことはできない。このような様々な因子が絡み合って地域医療が成り立っていることを理解することが大切である。

○　一般目標

- 地域医療・保健の経験を通じて、家庭・地域の中で提供される医療・医師の役割を理解する。
- 地域医療の実践に必要な知識・技能・態度を理解し、問題解決方法を身につける。
- 医療・保健・福祉の連携やチームとしての地域アプローチの重要性を理解する。
- 日常診療の中で人との関わり合いを重視する態度と技能を学ぶ。

○　カリキュラム例

	月	火	水	木	金
午前	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 診療所内、老健案内	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ 検査見学 外来診療	患者体験学習 事務実習	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ 訪問看護実習	ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ 検査見学 外来診療
午後	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ診療 老健ｶﾝﾌｧ 写真検討 ｶﾙﾃﾚﾋﾞｭｰ 振り返り	みろく苑巡回診療 写真検討 ﾌｨﾙﾑ検討 振り返り	訪問診察 外来診療 写真検討 ｶﾙﾃﾚﾋﾞｭｰ 在宅ｶﾝﾌｧ 振り返り	老健総回診 写真検討 ｶﾙﾃﾚﾋﾞｭｰ 振り返り	訪問診療 写真検討 ｶﾙﾃﾚﾋﾞｭｰ 週間ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ

別表　　六ヶ所村尾駮診療所　　実習プログラム

　地域医療・家庭医療の実践と研究をおこなっています。地域から見える新しい形の医療を一緒に学びましょう。

【臨床知識・技術・態度】

○ 一般目標

【地域医療の方法】の基本を理解し、外来診療に用いることができる。

○ 到達目標

・外来診療を類型化して分析することができる。

・ ＥＢＭ並びに仮設演繹法を用いた臨床診断の手順を説明し、実践する。

・ 患者中心の医療の方法（ＰＣＭ：patient‐centerd　clinical　method）を説明し、外来診療で用いることができる。

・ 地域アプローチを説明し、臨床でどのように用いられるかを考察できる。

○方略

・随時ミニレクチャーを行い、到達目標にあげた地域医療を行う上で必要な基本的な方法を学習する。

・ 外来診療の方法は、実践の外来診療を見学しながら指導医の診療を分析し議論することで学習する。基本を理解した後は自ら診療を行い毎日の検討会でフィードバックを受ける。

・ 臨床診断の演習は、外来診療の合間あるいは診療時間終了後に、実際の症例を用いて行う。基本を理解した後は自ら外来診療を行い毎日の検討会で指導医にフィードバックを受ける。

・ 地域アプローチの実際は、外来ケースを用いたカンファレンスと介護保険のかかわりの中で学習する。実習中に自分の担当したケースをもとに地域アプローチに関するレポートを提出する。

	月	火	水	木	金
午　前	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来/ 検査見学	外来
午　後	外来 産業医活動	外来 往診	外来 地域ケア会議	外来 千歳平診療所 （出張診療）	外来 老健回診
夕　方	検討会	検討会	検討会	検討会	検討会
備　考	研修生の研修日				知的障害者施設巡回

なお、ミニレクチャーは昼休みあるいは夕方の検討会を利用して行う。
ポートフォリオのフィードバックは原則的に金曜日に行う。